

「売れるKindle出版」通信講座

出版準備



【第9回】

コンセプト設計
コンテンツ

=目次=

コンテンツとは

書きたいことを洗い出す

アウトプットに便利なツール

文字数の目安を想定する

参考文献や資料を集める

<コンテンツとは>

書籍の内容のこと

どんな本にするのか
書きたいことを洗い出し
構成する

<書きたいことを洗い出す>

どんなことを書くのか、**書きたいことを洗い出す**



どういう順番で伝えるか**流れを組み立てる**



大まかな話の流れに「**見出し**」をつけて
順番に並べたものが「**章立て**」

<書きたいことを洗い出す>

コンセプト設計の段階では
頭の中を整理する

書きたいことをアウトプット

<アウトプットに便利なツール>

- ノートに手書きする
- メモ帳アプリに入力する
スマホなら音声入力
- 付箋に書いて紙に貼り付ける
貼って剥がせるタイプ
- マインドマップに書き込む

EdrawMind(無料アプリ)

<https://www.edrawsoft.com/download-edrawmind.html>

The screenshot displays the EdrawMind application window. The central mind map has a green root node: **売れるKindle出版通信講座企画書 (原本)**. It branches into ten white rectangular nodes:

- 出版目的
- 仮タイトル・サブタイトル
- 本のジャンル・カテゴリ
- 出版意図 (あなたが伝えたいこと) なぜこの本を書こうと思ったのか
- 読者ターゲット
- 読者が知りたいこと
- 読者が本を読んだ後得られる姿 (ベネフィット)
- 類書 (ライバル本) との差別化
- 読者限定特典
- 書籍のキーワード

The software interface includes a top menu bar with options like '開始', '挿入', 'ページスタイル', 'アドバンスツール', '表示', and 'AI'. A toolbar below the menu contains icons for various functions such as '貼り付け', '切り取り', 'コピー', '書式のコピー', 'トピック', 'サブトピック', 'フローティング...', '複数トピック', '関連線', '吹き出し', '囲み', '要約', and '検索と置換'. On the right side, a settings panel is open, showing options for 'レイアウト' (Layout), 'テーマ' (Theme), and '背景' (Background).

EdrawMindをアウトライン化

The screenshot displays the EdrawMind software interface. At the top, there is a navigation bar with icons for home, workbench, and various editing tools. Below this is a toolbar with icons for 'Mind Map', 'Outline' (highlighted with a red box), and 'Slide'. The main workspace shows a mind map titled '売れるキンドル出版通信講座企画書（原本）' with a list of bullet points. On the right side, there is a settings panel with sections for 'Outline Background', 'Outline Width', 'Background Settings', and 'Detailed Settings'.

ワークベンチ | 投稿 共有

マインドマ... アウトライン スライド

インデントを増やす インデントを減らす 画像 マーク 注釈 ハイパーリンク 添付ファイル コメント タグ 検索と置換 エクスポート

売れるキンドル出版通信講座企画書（原本）

- 出版目的
- 仮タイトル・サブタイトル
- 本のジャンル・カテゴリー
- 出版意図（あなたが伝えたいこと）
なぜこの本を書こうと思ったのか
- 読者ターゲット
- 読者が知りたいこと
- 読者が本を読んだ後得られる姿
（ベネフィット）
- 類書（ライバル本）との差別化
- 読者限定特典
- 書籍のキーワード

アウトラインの背景

用紙モード レギュラーモード

アウトラインの幅

狭い画面 広い画面

背景設定

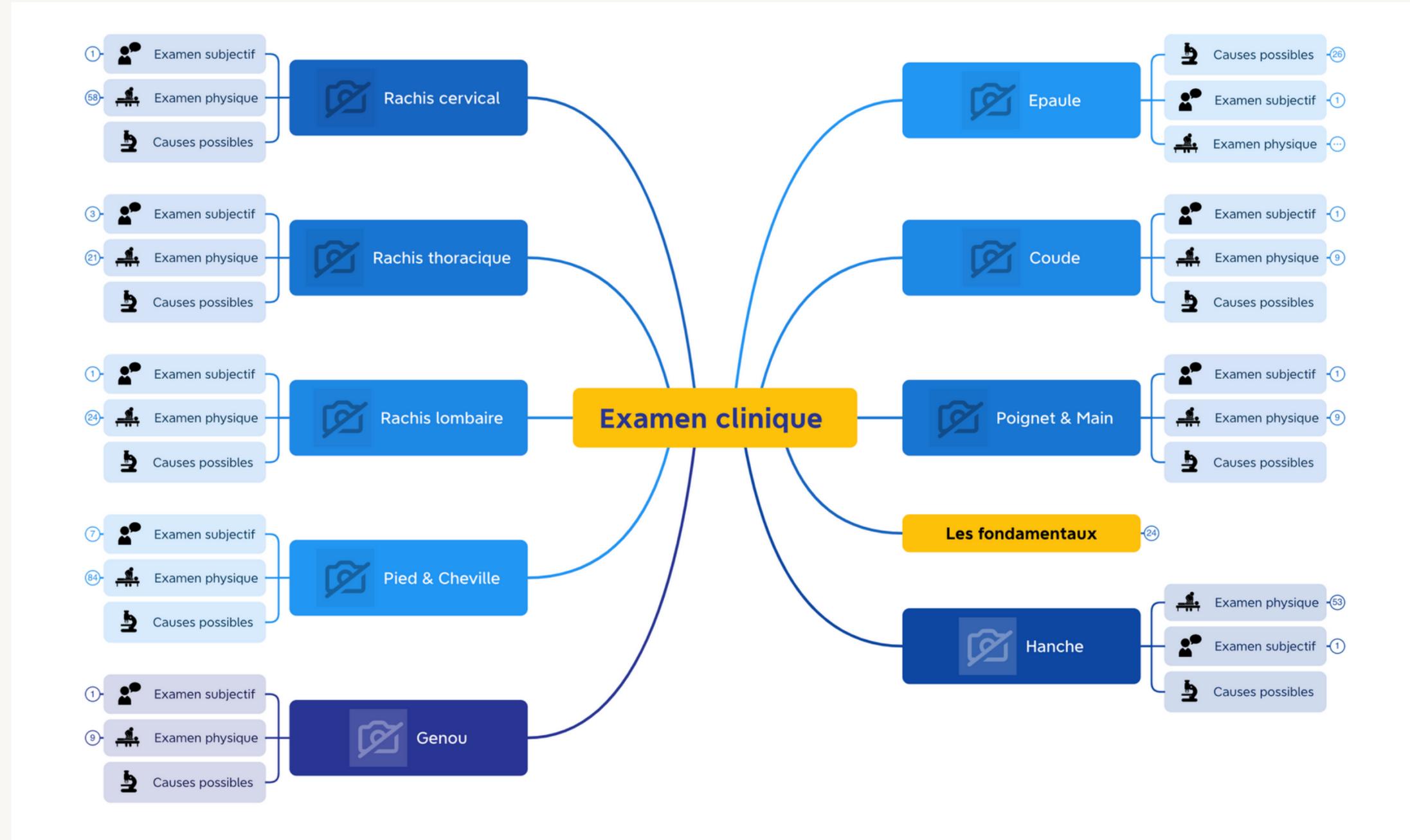
なし 無地 グラデ... 画像

詳細設定

透明な用紙

X mind(無料アプリ)

<https://jp.xmind.net/download/xmind>



<文字数の目安を想定する>

Kindle本って、何ページくらい必要？

印刷本のようにページ数の概念がないため
文字数で表現

ボリュームが少ない・・・もの足りない
文字数が多すぎる・・・途中で離脱

大人が本を読む速度は1分間に平均500～600文字
15000～18000文字 → 30分

商業出版の印刷本は10万文字以上が理想的

24000文字程度はほしい!

超長文電子書籍は途中離脱を考慮して
続き物でシリーズ化→まとめ買い

＜参考文献や資料を集める＞

他人の文献や資料を引用する目的

- あなたの意見に信憑性を持たせる
- あなたの意見の裏付けになる
- あなたの発言の根拠を理解してもらえる

研究結果のデータ
考えの大元にある参考書籍

▼
「引用・参考ページ」として出典の詳細を表示

引用文とそれ以外が明確にわかるように

引用部分にカギカッコ『 』
ダブルクォーテーション“ ”などの引用マーク
線で囲む、網掛けをする



「出典」がわかるようにしておかないと
著作権法違反に

※引用は、文章だけでなく図や表なども含む

<引用時に必要な情報>

- 著者名
- 出版物の発行年
- 書籍名
- 出版社名
- 引用ページ

<WEBサイトから引用した表示例>

“ウィキペディア（英: Wikipedia）とは、世界中のボランティアの共同作業によって執筆及び作成されるフリーの多言語[4]インターネット百科事典である”

出典：フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

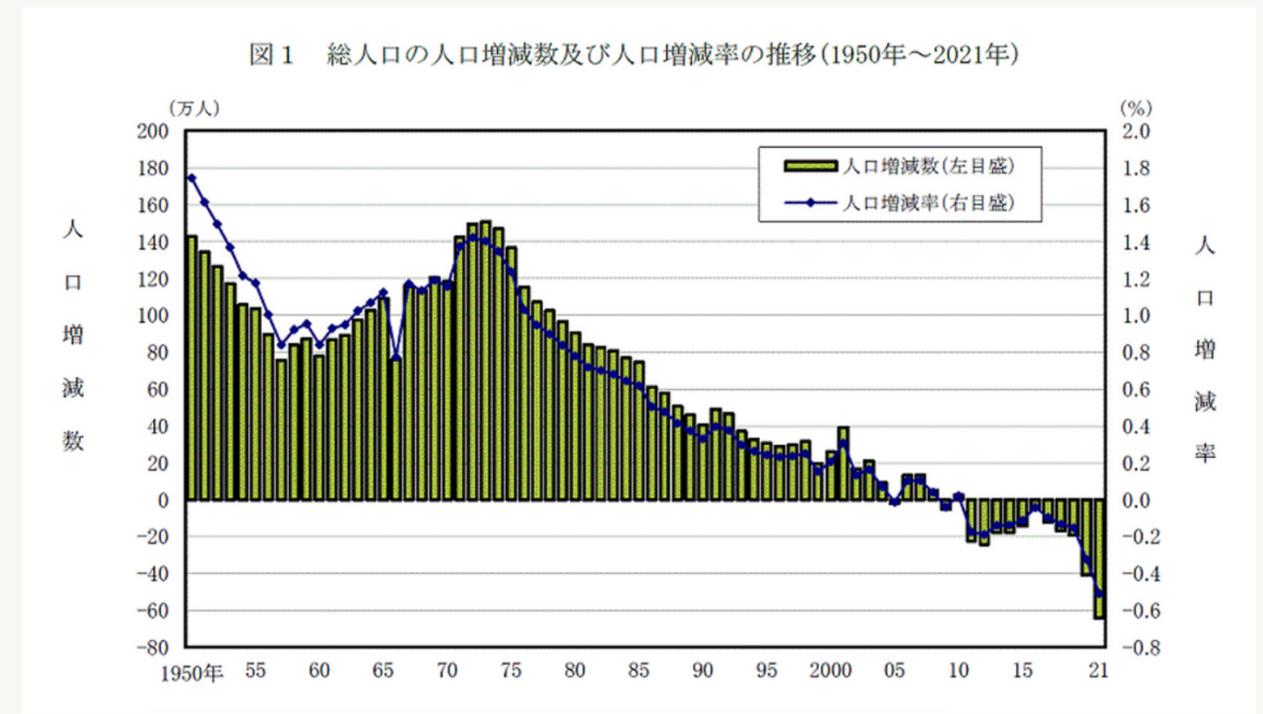
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%A6%E3%82%A3%E3%82%AD%E3%83%9A%E3%83%87%E3%82%A3%E3%82%A2>より引用

<書籍から引用した表示例>

“ベネフィットとは商品やサービスから
得られる嬉しい未来のこと。”

出典：セールスコピー大全 ぱる出版 2021年
大橋一慶 著 96ページより引用

<図を引用した表示例>



総務省統計局 人口推計
(2021年(令和3年)10月1日現在) 結果の要約

<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/2021np/index.html> より引用

